

平成27年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉市立明德中学校区 校番22 呉市立明德中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	どの中期経営目標及び短期(今年度)経営目標、指標も昨年度までの成果と課題を丁寧に整理、分析し、適切に設定している。特に、生活リズムカードの3点固定(起床・就寝・家庭学習)の目標について、今年度は学年ごとに設定しており、生徒の実態に沿ったものであると考える。また、他の指標についても、学力調査や生徒・保護者へのアンケート等による総合的な実態把握を行えるよう適切に設定されている。
目標達成のための方策の適切さ	B	小学校と連携し、授業改善の視点や学習ルール徹底について、共通理解を図りながら取組を進めているのは評価できる。しかし、家庭学習の徹底や基本的生活習慣の確立に向けて、校内での取組がやや明確になっていない面が見られる。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	学力調査や体力テストの結果について、全国や広島県全体と比較し、ていねいに分析を行い、自校の課題に迫っている。しかし、学習に対する意識及び生活習慣と学力結果との相関関係について、さらに個別に分析していく必要がある。
今後の改善策(案)の適切さ	B	学習習慣や生活習慣について、全体指導だけでなく保護者と連携しながら、個別指導をより綿密に計画的に行っていく必要がある。また、宿題を提出しにくい生徒に対して放課後等を活用して、徹底してやりきらせていくことが必要である。また、体育の授業と部活動の指導をさらに結びつけ、個々の課題に応じたトレーニングを継続して行っていく必要がある。
その他		学力面と体力面の両面について、どちらもバランス良く鍛えてやってほしい。特に体力については、年間を通して計画的に継続して取組を進めてほしい。生徒個々の伸び具合をしっかりと見ながら、がんばっている面や伸びている面を大いに評価していくことが必要である。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>学力調査の結果や課題を全教員で共有し、全教科及び領域で改善策を着実に進めていく。特に、家庭学習の習慣が十分についていない生徒に対して、さらに家庭と連携しながら本人への面談を綿密に行い、宿題等を徹底してやりきらせていく。また、基礎体力の向上に向けて、体育科と部活動顧問の会議を定期的に行き、練習メニューの改善や共通化をより図り、組織的に取組を進めていく。</p>
--------------------	---